

4つの
マテリアリティ



加藤産業グループのサステナビリティ

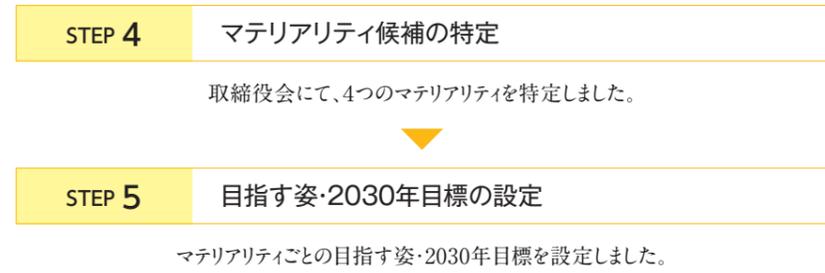
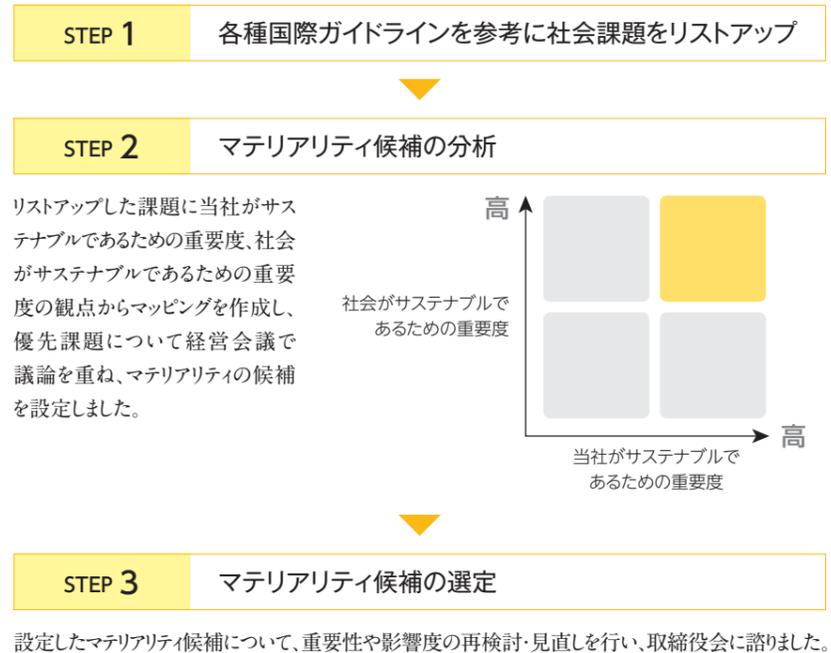
サステナビリティ基本方針

加藤産業グループは、「豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること」というミッションを通して、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を目指します。そのために、4つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、これらの解決に取り組むことで、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

マテリアリティ



マテリアリティの特定プロセス



マテリアリティごとの目指す姿と2030年目標

マテリアリティ	目指す姿	2030年目標
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン全体の脱炭素のために、生産者から消費者までの全体最適を実現する 省エネルギー、創エネルギー、非化石エネルギーの調達、カーボンオフセットの活用により、カーボンニュートラルを達成する 	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量の削減 2021年度比 30%削減
フードロス & ウェイト	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用食品の廃棄量を削減するために、サプライチェーン全体を最適化するプラットフォームを構築する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄金額2021年度比 50%削減 返品金額ゼロ
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷を低減するために、石油から新たにつくられるプラスチックや、適切に管理されていない森林由来の紙資源を使用しない流通システムを構築する 	<ul style="list-style-type: none"> 物流資材における代替プラスチックへの移行とプラスチック類の再資源化100% すべての自社ブランド商品におけるサステナビリティへの配慮
多様な人財の活躍	<ul style="list-style-type: none"> 多様な能力、価値観を持った人財が、それぞれの立場で活躍できる会社となる 	<ul style="list-style-type: none"> 男女の固定的な役割分担意識や処遇における不平等を解消し、男女ともに安心して働き続けられる職場環境を全員で作上げる

※「目指す姿」の達成時期は、当社が100周年を迎える2047年を想定しています。

サステナビリティ推進体制

代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ委員会を設置しました。さらに、サステナビリティ委員会の下部組織として、マテリアリティごとに4つの分科会を設置し、意思決定できる体制を整えています。

